

2021 年度 学校評価報告書

2021 年 4 月 1 日から
2022 年 3 月 31 日まで

学校法人コリア国際学園

2021 年度に新型コロナウイルス感染拡大(第 4 波～第 6 波)が長引く中、その影響で学校運営に及んだ設立以来の難局を最善の努力をもって切り抜けてきた。

KIS 教育理念に基づいた学校運営の永続性確保、教育活動全般を中期的な拡大発展に向け反転させて行く方針を打ち出し、教育改革の継続推進、新しく K-POP エンターテイメントコース設置等で教育活動を充実させ、さらなる生徒募集、財政指標の改善のために全力を尽くした。

1. 教育改革の推進

建学の精神と教育理念を学校教育に落とし込み学校文化として定着させるため 2019 年度から教育改革を推進してきた。コリア国際学園の価値観と原則を「人・学び・多様性」、「自由と責任」と定め、これに沿った教育活動におけるルールの明確化、それを常に見直す場として「教育評価諮問会議」を設置し、生徒・保護者・教職員・理事評議員・地域住民・教育関係者の意見を集約反映させる場としてきた。2021 年度には「教育評価諮問会議」(7 月、1 月開催)が実質的に機能するよう、意見集約に留まらず合意事項を各会で具体化し実施するように努めた。

2. 「どう教えるか」から「どう学ぶか」へ

コロナ感染拡大に対応したオンライン教育活動や時差登校、教育活動を継続するための様々な取り組みがなされる中で、オンライン授業での学習効果を高めるための研究と実践を通じて、反転学習が効果的であり、反転学習が本質的に学習者の学び方と知識の交流を通じた知識の定着を図ることから多様な能力を持った生徒たちの学習に効果的であると考えられる。コリア国際学園の生徒たちは学習能力だけでなく、母語や外国語能力、国籍や民族、文化的背景などが多様で、教員主体の学習よりも、学習者主体の個別最適化された学びが効果的であると考えられる。

2021 年度は、変化した教育環境の中での新たな経験に基づき、学習者主体の多様な学び方や評価方法などの研究を、授業実践を通じて進めた。

3. 新コースの設置

2021 年度に臨むにあたり、短期の準備期間であったが学則を変更して「K-POP エンターテイメントコース」を新設した。K-POP・エンターテイメントコースは、三言語と問題解決能力、コミュニケーション能力を備え、国際社会で活躍する人材を育成するという本校の教育理念に合致し、さらには日本社会のニーズに応えられるコースであると言える。4 月の朝日新聞記事掲載、6 月の NHK おはよう関西放送放映、7 月の ABC キャストなどのマスコミ取材の効果もあり、初年度である 2021 年度は新設コースの教育体制を確立させ進めた一方、2022 年度生徒募集活動に拍車がかかり着実に前進させることができた。

4. コリア語教育・英語教育

言語教育はコリア国際学園教育の柱の一つである。コリア語教育は教育内容、生徒の言語運用能力共に日本国内では高いレベルであると自負している。また、英語教育もネイティブスピーカー教員による授業に加え、英文法の授業も定着し相乗効果が得られるようになってきた。2年間に亘り海外渡航、海外研修が実施できない状況の中、2021年度は引き続きコリア語や英語を日常的に使用する環境づくり、海外研修に代わる教育活動を模索し言語教育の枠組みを強化することに注力してきた。

5. 国際バカロレア（IB）教育

2018年度から国際バカロレア（IB）教育を実施し、2020年度に2期生が初めて最終試験に合格しフルディプロマを取得するに至った。2021年度は、さらに安定的に国際バカロレア（IB）教育を実施できる教育体制を整えるため関心をはらった。

6. 進路指導

学校生活を通じて生徒たちが夢を持ち、その夢を実現するために自分で努力できるようにすることが本校進路指導の基本方針である。それを実現するために、他の教育活動と連携しつつキャリア教育を体系的に実施する。また、高等部3年については個別指導体制を取り、きめ細かい指導ができるようにする。近年、増えている韓国の大学進学希望者に対応するために韓国の大学との連携を進めている。

2021年度高等部卒業生16名の内、8名がアツ橋大学はじめ日本の大学に、7名が韓国の名だたる大学にほぼ自身の希望を実現して進学する結果となった。

7. 生徒指導と担任業務

「自由と責任」を原則とした学校文化を作り上げるために、全員が理解できるルールづくり仕組みづくりに継続して取り組んでいる。ルールの範囲内で誰もが安心して自由に学び学校生活を送れるよう生徒たちに自由と責任を求めていくとともに、自己指導能力を高めて行けるよう担任教員の役割強化に尽力した。

8. 生徒募集

生徒募集をコリア国際学園運営の前途を切り拓く最重要課題ととらえ、前年度に新設コースも含め新入生編入生30名を受け入れた成果を基に、2021年度は生徒募集活動を一層積極的に推進した。何よりもKIS各コースの教育内容充実を図りながら、日本韓国の新聞TVマスコミを活用した広報活動に力を入れ、オープンスクール授業参観の実効性をあげる様々な努力を傾けた。

結果、2022年度は43名の入学生転入生を受け入れ、次年度に生徒数を100～110人台に押し上げる展望を開くことができた。